

# くすのき

## 令和6年度 山ノ内小学校 学校教育目標

「すすんで、ともに学ぶ子どもの育成」

～自ら学ぶ力と自ら律する力を高める教育の創造～

### <第2回 学校評価 分析と考察>

山ノ内小学校では「すすんで、ともに学ぶ子どもの育成 ～自ら学ぶ力と自ら律する力を高める教育の創造～」という学校教育目標を掲げ、日々教育活動を進めています。さらに、授業のユニバーサルデザイン化を研究課題にして、ペアやグループ等少人数での話し合い活動を取り入れたりしながら、「主体的・対話的で深い学び」をキーワードにする授業改善に取り組んでいます。

#### 1. 児童について

低学年・高学年どちらにおいても、ほとんどの項目で、80%以上の子どもが「よくできている」か「大体できている」と回答していました。特に(1)「友達と仲良く、学校生活を送る」(2)「掃除や片づけを最後までする」(3)「きまりや約束を守る」(9)「人の話をしっかりと聞く」(12)相手の気持ちを考えて行動する(13)「自分や他人の命を大切にする」(14)「情報モラルやマナーを守る」で、90%以上の子どもが「よくできている」か「大体できている」と回答していました。これは、今年度の第1回の学校評価と比べて、項目が増えています。一方で、(5)すすんで読書に取り組む(10)「自分の考えや思いを話す」と(11)「すすんでからだを動かす」は少し低い数値となっていました。その中でも、低学年と高学年で差が見られる項目もあります。(11)「すすんでからだを動かす」は、高学年の方が「よくできている」「大体できている」と答えた児童が少なくなっています。

これらの結果から、本校の子どもたちは、友達と仲良く学校生活を送ることができていると言えます。そして、それに関わる項目の数値も高くなっています。(2)は友達と協力することの大切さ、(3)や(14)はきまりやルールを守ること、(9)や(13)は友達を大切にする姿勢等、友達と仲良く学校生活を送るためにとても大切な内容です。さらに、第1回に比べ改善が見られた項目(12)「相手の気持ちを考えて行動する」も友達と仲良く学校生活を送る上で、とても大切な内容です。毎月10日の「なかよしの日」の学習や道徳の学習を中心に、友達と仲良く学校生活を送るために大切なことを考えていきます。さらに、12月は人権月間の取り組みを行いました。全校児童が同じテーマ「ともだち」について考える学習を行うことで、いつも以上に「ともだち」について、深く考えることができました。このような全校が一体となった取組を継続していくことで、より山ノ内小学校の児童が友達と仲良く学校生活が送れるようにしていきます。その中で、「あまりできていない」「できていない」と回答した子どももいます。子どもたち一人一人に丁寧に寄り添いながら、指導を継続していきます。低学年・高学年共に少し低くなっていた項目で(10)「自分の考えや思いを話す」があります。約20%の児童が「あまりできていない」「できていない」と回答していました。しかし、昨年度や今年度の第1回から改善が見られ、「自分の考えや思いを話している」児童が少しずつ増えていると考えられます。これからも、自分の考えや思いを表現できるよう、ペアやグループ等、少人数での話し合い活動を積極的に授業で取り入れていきます。

#### 2. 教職員について

教職員の回答では、ほとんどの項目で80%以上が「よくできている」か「大体できている」と回答していました。しかし、(5)「すすんで読書に取り組む」は、昨年度に引き続き、今回も「あまりできていない」「できていない」と回答した教職員がいました。その他、教職員と児童の評価で差がある項目については、どのような取組をしていくのか分析していく必要があります。

#### 3. 保護者について

保護者の方の回答は、ほとんどの項目が90%以上「よくできている」か「大体できている」との回答でした。その中で、(5)「すすんで読書に取り組むように働きかけている」この項目だけが、これまでと同様に低くなっており、「よくできている」か「大体できている」の回答が60%でした。進んで読書に取り組む子どもは、語彙力・表現力が養われます。引き続き、ご家庭でもお声かけをいただきますようお願いします。

## 令和6年度 第2回学校評価まとめ

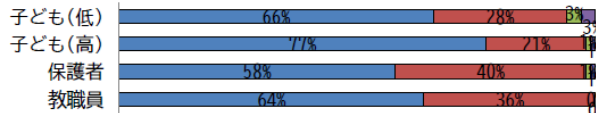
第1回学校評価にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告いたします。

凡例(左から) Aよくできている B大体できている Cあまりできていない Dできていない

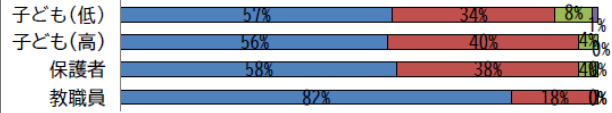
アンケートは、子ども・保護者・教職員それぞれによる自己評価です。子どもについては、自分自身の実現度を質問しています。保護者・教職員については、自分の子どもへのかかわり方での実現度について質問しています。

(例) 児 童：友だちと仲良く楽しい学校生活を送っている。  
保護者：友だちと仲良く楽しい学校生活が送れるように働きかけている。  
教職員：友だちと仲良く楽しい学校生活が送れるよう学級づくりを進めている。

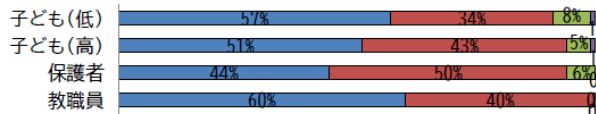
### (1) 友だちと仲良く、楽しい学校生活を送る



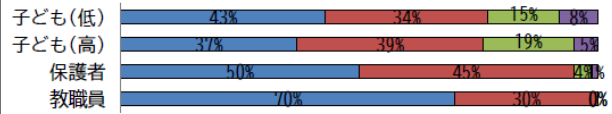
### (9) 人の話をしっかりと聞く



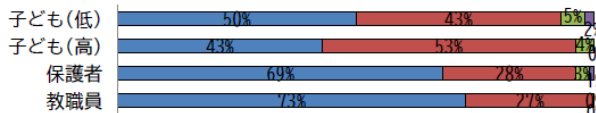
### (2) 掃除や片づけを最後までする



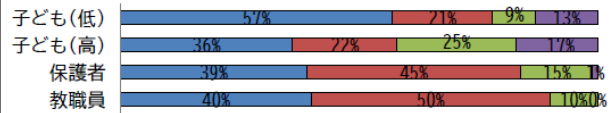
### (10) 自分の考えや思いを話す



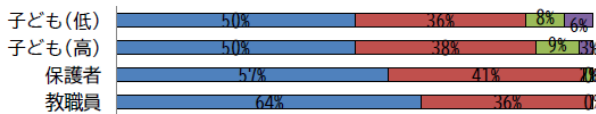
### (3) きまりや約束を守る



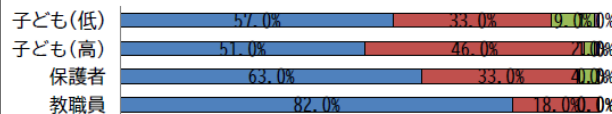
### (11) すすんでからだを動かす



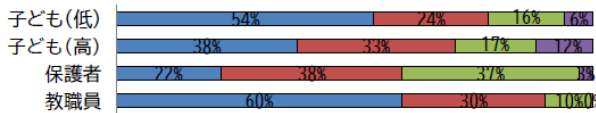
### (4) すすんであいさつをする



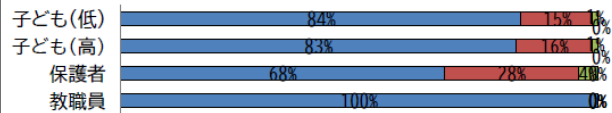
### (12) 相手の気持ちを考えて行動する



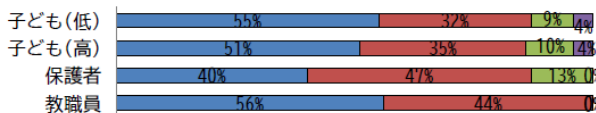
### (5) すすんで読書に取り組む



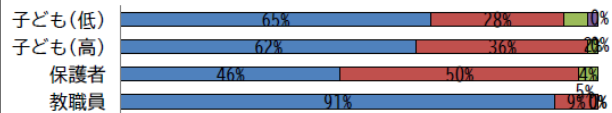
### (13) 自分や他の人の「命」を大切にする



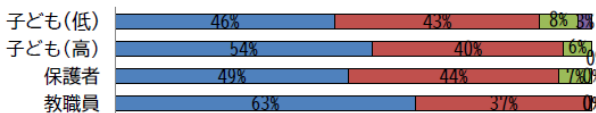
### (6) すすんで家庭学習に取り組む



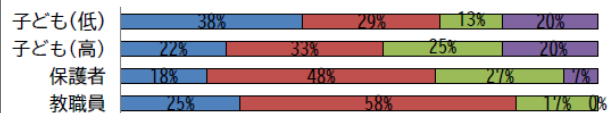
### (14) 情報モラルやマナーを守る



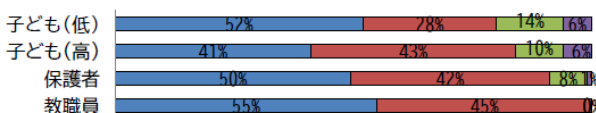
### (7) 学習の準備を忘れない



### (15) PTAや地域行事へ参加する



### (8) 早寝・早起き・朝ごはんを心がける



※教職員については、担任でないと答えられない項目もありますので、無回答は母数に入れていません。

※グラフの数字は、全体の割合の概数ですので、0と表記されていても、選択されている人が若干名いる可能性もあります。